

# HopStepJump

<https://toyono-jinikyo.com/>

# 7

## 授業づくり④・⑤

～授業の導入・展開・まとめについて～

初任者研修第6・7回は大阪教育大学附属池田小・中学校を会場に、授業展開や指導技術など授業づくりの具体を学ぶ研修でした。8月2日は小学校班、3日は中学校班で実施し、午前の10年経験者研修との合同実施（通称・コラボ研修）では、グループごとに初任者による模擬授業をもとに協議をおこない、具体的な改善点や指導のポイントを10年経験者から助言をいただきました。午後は附属池田小・中学校の先生による模擬授業や研究協議・質疑応答をおこない、児童・生徒の視点から授業づくりを考えることができ、それぞれにとって2学期以降の授業改善につながる気づきを得る時間となりました。

## 振り返りシートもコラボ！～10年研の振り返りシートより抜粋～

初任者の先生方の授業は、どの方も板書計画、掲示物作り、発問等、丁寧に考えておられました。とても素晴らしかったです。同時に10年目の自分はどうかと振り返るよい機会となりました。何年目になっても、初心を忘れず、子どもがよりよく学べるよう授業研究をしていくことが大切であると改めて気づき、2学期以降の授業にいかしていけたらと思いました。

初任者の先生方の授業に対して助言をすることが中心になると感じていましたが、たくさんの方の逆を学ばせていただきました。初心にかえり、発問や指示の明確さ、ていねいさを見つめなおすよい機会になりました。

私も10年前に初任者として研究授業に向き合っていたときのことを思い出しました。今回は「助言」という立場でしたが、一つの授業に対して初任者の先生方と共にどのように授業づくりをすればいいのかしっかり考えることができました。まだまだ助言内容としては未熟なところもあったと思いますが、この経験を今後の校内でいかしていければと思います。

今回のような研修を行うことで、授業をみる視点が明確になり、自分の授業についても自己評価しやすくなったと思います。自分の学校でも、いろいろな経験の先生方と教材研究をしたり、授業をみあったりして、高め合えるようがんばりたいと思います。

10年目の先生方にとっても貴重な機会や経験になったことがこれらの記述から分かります。お互いから学び、刺激しあえる時間になったことをうれしく思います。また、10年の経験におごることなく学び続ける姿勢、初任者から学び取り、今後活かそうとする姿勢や心意気は、ぜひみなさんの今後のキャリアのモデルにしたいと思います。

また、今回のコラボ研修をきっかけに、普段からの校内でのつながりや関わりが増えることを期待しています。初任者研修の年間テーマ「子ども主体の学級・授業づくり」（\*研修の手引2ページ参照。）にある「子ども主体」とはどのようなことでしょうか。子ども主体の学級や授業を考えるために、普段から子どもの話や授業の話を教職員同士でどれくらいしているのでしょうか。それらの話はとても楽しくておもしろくて深い話なのですが、どうしても目まぐるしく過ぎていく日々の中でなかなか時間をつくれないう現状があるかもしれません。10年経験者研修の振り返りシートの記述から、「このような思いをもった先輩が同じ職場にいる」ということをお伝えできればと思い掲載しました。半年後にはみなさんも「2年目」としての姿が求められます。自分のクラスや学年だけでなく、少しずつでも職場の雰囲気をつくる担い手になっていってください。

